

越知道路の必要性

国道33号 越知町丙～同町野老山 (L=4.0km) は、地すべり指定区域や落石など、道路利用者への危険性が高い区間が存在するため、台風や集中豪雨などの異常気象時には通行止めが実施されます。

平成13年～平成22年の過去10年間では、延べ16回304.7時間の通行止めが実施されました。特に平成22年8月の岩盤崩壊では約4日間の通行止めが実施されました。

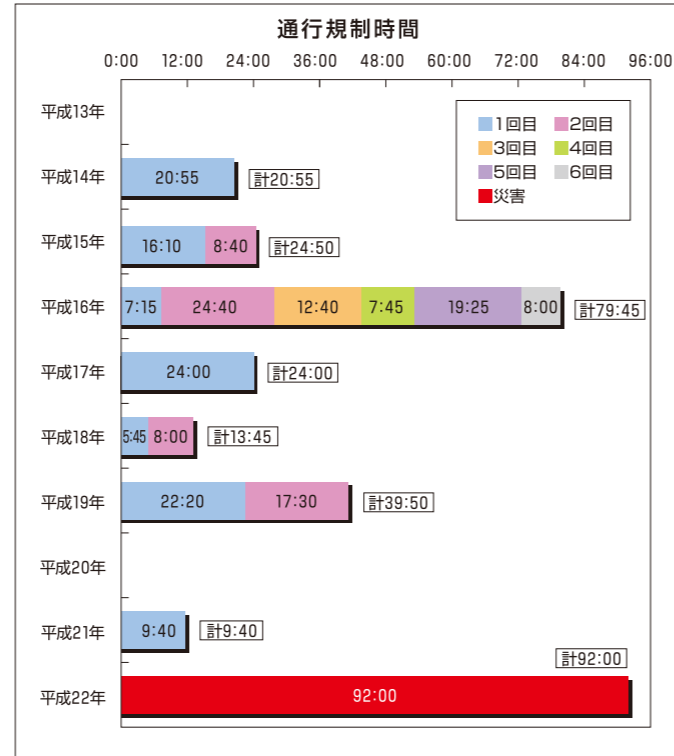
本事業により、越知町における事前通行規制区間が短縮され、防災危険箇所が回避されます。



(平成22年8月16日 岩盤崩壊 越知町越知丁付近)

平成13～22年間で
304.7時間(延べ16回)の
通行止めを実施

■越知道路周辺の通行規制区間の状況と通行規制発生回数・時間



越知道路ができるまで

現地測量・地質調査

① 調査説明

計画道路の概要を関係者の方々に説明し、測量・地質調査のために土地への立ち入りの了解をお願いします。

② 現地測量・調査

設計に必要な地形の調査として、現地の詳しい測量や土地利用状況の調査などを行います。

道路詳細設計

③ 設計案作成

現地の地形状況などを反映して、設計案を作成します。

④ 設計協議

設計案を元に、関係者の方々と具体的な設計内容について協議します。

⑤ 現地協議

現地に道路の予定幅を示す目印を設置して、道路の構造(高さ・水路・側道・取合せ等)について、関係者の方々と現地で協議します。

⑥ 詳細設計

協議内容を反映して、設計を確定します。

は、関係者の方々のご意見をお伺いし、事業を進めるステップです。

⑦ 幅杭設置 (道路用地確定)

用地調査・交渉

⑧ 境界立会

道路用地にかかる土地の境界について確認するため、地権者の方々との立会をお願いします。

⑨ 用地調査

土地・建物・立竹木など、補償対象となる物件の調査を行います。

⑩ 用地補償説明・交渉

関係者の方々に用地補償の説明・交渉を行い、契約・支払いを行います。

⑪ 工事

状況に応じて、事前に説明会を行います。

完成

道路が完成し、車や人が通れるようになります。



地域高規格道路 国道33号

おちどろろ 越知道路

全長4km



国土交通省
四国地方整備局
土佐国道事務所
〒780-0055 高知市江陽町2番2号
【代表】TEL(088)884-0359
【直通】TEL(088)885-4825
FAX(088)885-1494
<http://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/>
●道路に関するお問い合わせは
【道の相談室】☎0120-106-497
<http://www.skr.mlit.go.jp/road/michi/>



越知道路3工区(野老山地区)平成19年6月9日供用

越知道路の概要

国道33号は、高知市と松山市を結ぶ延長約119kmの幹線道路で、代替路線を有しないことから中山間地域にとって日常生活に欠くことのできない重要な路線となっています。一方、降雨による事前通行規制区間が全区間の45%を占めているなど、課題を抱えています。

このため、高規格幹線道路と一体となって、地域間の「連携・交流」や、空港・港湾等の広域交通拠点との連携を図り、地域発展の核となる「地域集積圏」の形成を支援することを目的として地域高規格道路(高知松山自動車道)に位置づけし、整備を推進しています。

この中で、越知道路は国道33号の事前通行規制区間(連続雨量250mm)のうち、落石、地すべり等の恐れが多い箇所の防災対策及び線形改良を目的として優先的に事業化を行い、早期に効果を発揮出来るように進めている事業です。

- 1 事業名 国道33号越知道路(おちどうろ)
- 2 区間及び延長 区間(自) 高知県高岡郡越知町越知内
高知県高岡郡越知町越知内
(至) 高知県高岡郡越知町野老山
延長4km
- 3 道路構造規格 第3種第2級
- 4 設計速度 60km/h
- 5 事業化年度 越知道路3工区(野老山地区)(L=1km)平成8年度
越知道路2工区(越知地区)(L=3km)平成20年度

⑥事前通行規制区間(連続雨量250mm以上) L=20.3km

野老山トンネル L=340m
野老山第二橋 L=178m
野老山第一橋 L=153m
Tos=6,408台/日

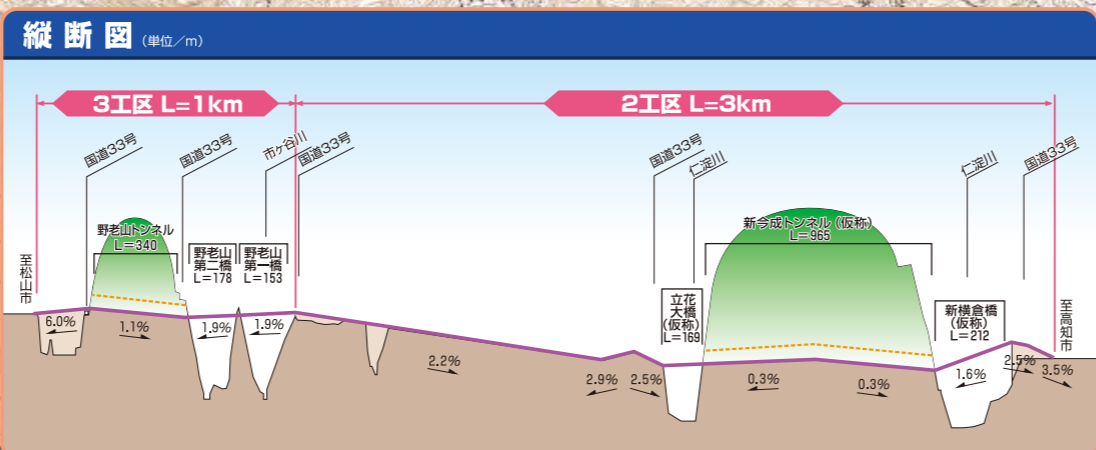
平成22年8月16日 岩盤崩壊箇所

平成19年6月9日完成

3工区(野老山地区) (L=1km)

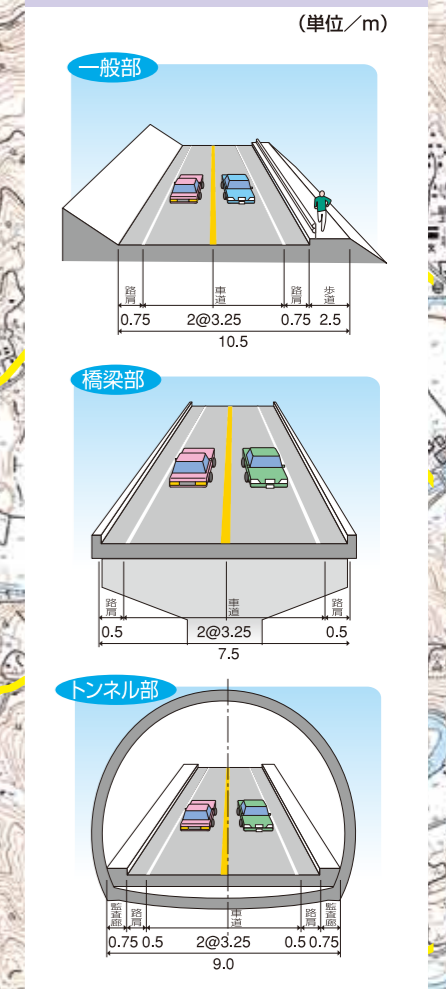
2工区(越知地区) (L=3km)

越知道路(L=4km)



- 凡例
- 一般国道
 - 一般県道
 - 整備区間
 - 主要地方道

標準断面図 (越知工区)



S=1/25,000
500m 0 500 1,000 1,500

※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平21四復、第76号)」